

♪どれを推そうかな♪

F「さて、『ラブラブ♥きゅんきゅん』に引き続いて今回は『推し』がテーマです！好き！を前面に出していきましょう！ということで、紙面のコーナーも展示棚もいつもとは少し違ってあります」

T「紙面ではそれぞれに推しの一冊を紹介するコーナーを作りました」

M「展示棚は、3人それぞれ一棚ずつ使って、本を展示、飾りつけをするわよ！私はもちろんホラー色に染めます！黒〜♪」

F「えーと、まあそのためにそれぞれの推しを紹介するというテーマにしましたからね……。ホラー駄目……。Tさんはなにを推しますか？前から有栖川有栖好き、とは聞いていたが、やっぱりミステリー？」

T「SF 特集をしたときに山田宗樹さんの『存在しない時間の中で』を読んで面白いなと思いました」

M「SF 書ける作家さんって、絶対賢いよね！宇宙☆〇井理論とかわけわからん」

F「それが読める T さんも、賢い子……」

T「いえいえ」

M「そういう F さんは何を推すの？」

F「うーん。どうしようかねえ」

M「言い出しっぺのくせに！」

F「推したいものがいっぱいあって決めきれないんですよね……。この世に推せない本はないのです」

T「……メモします」

M「久しぶりに聞いたわね。Tさんの『メモします』」

F「わー！ごめんなさい！嘘です！取り消してえ！ホラーは推しません！どんなにその作品が素晴らしくても推せません！怖いから！」

M「そこがいいんじゃないの。ホラーは、真夏と残暑のよいおともでしょうが」

T「……メモします」

F「Tさん、今回は大盤振る舞いですね」

T「……メモします」

M「Tさんのメモ帳がくだらないことで埋まっていく！」

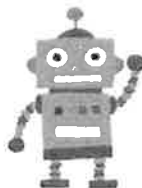
T「……メモします」

F「バグったロボットみたいになってません!？」

M「まさかの SF!？」

Instagram公開中 ここにアクセスしてね★

<https://www.instagram.com/hondarake55>



←QR コードでも
アクセスできます

ホンダラケ

2025.8.1

われらの！推しの一冊！

だけじゃない！けれど。

今回は、YA 担当それぞれの推しを一挙大公開！
ホンダラケのコーナーでも一冊ずつ紹介しますよ！

『12音のブックトーク』 こまつあやこ/著
あかね書房 2024 年刊



F/コマ

「ねえねえ！これホントいいからちょっと試してみよ！」
自分の「推し」を知ってもらいたいときは、熱が入りすぎて「押しつけ」になってしまいがち。中学生の初奈もそんな失敗から、自分の考えをはっきり言えなくなってしまいました。ところが、一冊の本、そして同じ本を読んだ友達に出会ったことで少しずつ変化していきます。
テーマに沿って本を紹介するブックトーク。それをおして、好きなものを薦める難しさ楽しさを伝えつつ、「好き」で広がっていく輪を見せてくれます。本好きにとってたまらない一冊です！
(F)

ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA（ヤングアダルト）コーナーでご覧いただけます。

2か月に1度、年6回発行予定です。

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

テーマは「ミステリー」

今年の夏は、推しミステリーと出会う予感☆

『サマーレスキュー 夏休みと円卓の騎士』

二宮敦人/著 文藝春秋 2024年刊



F/ニノ

『あとには愛する覚悟だけだよ。勇気を出して認めて、前に進むんだ』これは主人公・千香が、友達のためにあるゲームをプレイする物語です。ゲームの中での出会い、そして過去の謎が解けていく。新たな気づきを通して、千香や友達たちだけではなく、読んでいる自分自身も成長できるというのがこの本の魅力です。感動の物語を読んでみてください！

P.N. 2人のアリス(中学1年生)

われらの！推しの一冊！

今回、ここはYA担当がそれぞれ推しを紹介するコーナーです♪

『ナニュークたちの星座』

雪舟えま/文 カシワイ/絵 アリス館 2018年刊

子どもにしか見つけられない隠児石^{かくれこいし}を採掘するためにつくられた「ナニューク」。彼らは製造番号で呼ばれていて、成長には人間の3倍の時間がかかるクローン少年なのです。ここでは、主人公 37922 号が、突然すがたを消した親友を探しにいく物語が描かれています。クローンだけど、性格や好みはそれぞれ違い、個性を持っているナニュークたち。そんな彼らのやさしくてちょっとフシギなストーリーは、読んだ人の心をいやしてくれます。(T)



F/ユキ

新着図書 Pick Up

『ペンツベルクの夜』

キルステン・ボイエ/著 木本栄/訳 静山社 2025年刊

1945年4月27日と28日、たった二日間で16人もの一般市民が虐殺されたのは、ドイツ・ペンツベルク。後に「ペンツベルクの殺戮^{さつりく}の夜」と呼ばれるようになったこの事件が、史実に基づきドキュメンタリーのように、淡々と事件を追って書かれています。戦争は人の心を狂わせる。人が人を殺すことに正義は存在するのだろうか。結末が決してハッピーエンドではないところが、この話が架空の物語ではないことを示しています。



943/ボイ

われらの！推しの一冊！

今回、ここはYA担当がそれぞれの推しを紹介するコーナーです♪

『水曜日のお嬢様』

二木繁美/著 講談社ビーシー 2024年刊

怖い話ディスク♪Mさんの推し本は、さぞや極上のホラーかと思いきや、パンダ本です。パンダもディスクなの♪「神戸のお嬢様」と呼ばれていた王子動物園のタンタン。持病を抱えながらも、常に愛らしく時に飼育員さんを困らせながら、ゆるゆると余生を送っていらっしゃいました。生涯が神戸のアイドルだったタンタン。お嬢様の我がままに振り回されるのも、可愛いから許す！^{よだれ}涎が出そうほど可愛いタンタンの悩殺ショットがいっぱいです。タンタンのひまわりは今年もいっぱい咲くかしら？(M)



489.5/24